

弥富市事務事業評価シート 平成29年度実施事業対象

No.	32	1	事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	細事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業	公的関与	2	シート作成日	平成30年6月1日					
課名	介護高齢課		グループ	介護保険		担当課長名	藤井清和		シート作成者名	富居利彦					
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 整備事業		<input type="radio"/> 5 施設の管理運営		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
	<input type="radio"/> 2 施設の建設		<input type="radio"/> 4 経常的事務事業					<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
総合計画	政策目標	3 健やかでやさしいやとみ			実施計画		事業の開始・終了								
	施策項目	高齢者支援の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 28 年度 ~ 平成	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
	主要施策	地域支援事業の推進			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		介護保険法						
個別計画	介護保険事業計画・高齢者福祉計画														
事業の目的	対象(誰を・何を)				意図(どういう状態にしたいのか)										
	要支援認定を受けた者と、基本チェックリスト該当者(事業対象者)				市が中心となって、市特有の事情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域で支えあう体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的な支援等を可能とすることを旨とする。										
事業の内容	介護予防・日常生活支援総合事業は、①介護予防・生活支援サービス事業と②一般介護予防事業からなり、①介護予防・生活支援サービス事業は、要支援認定を受けた者と基本チェックリスト該当者を対象に、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービス、介護予防ケアマネジメントで構成される。②一般介護予防事業は、第1号被保険者のすべての者を対象に、介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業(元気塾・認知症予防教室等)、地域介護予防活動支援事業(ふれあいサロン等)、一般介護予防事業評価事業、地域リハビリテーション活動支援事業から構成される。														
成果指標	①	指標名	地域介護予防活動支援事業(ふれあいサロン)設置数				②	指標名							
		指標設定の考え方	市が委託する地域のふれあいサロン設置箇所数			単位		箇所	指標設定の考え方						
		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 28 年度		平成 29 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度					
		実績	16	実績	19	目標		※	目標	21	実績		目標	※	目標
		目標	16	目標	18	目標		※	目標		目標		目標	※	目標
予算費目	会 計	介護保険(保険事業)			款	4	地域支援事業費	項	1	介護予防・生活支援サービス事業費	目	1	介護予防・生活支援サービス事業費		
直接事業費			平成 28 年度決算額			平成 29 年度決算額			平成 30 年度予算額						
	国・県支出金	10,261 千円		27,754 千円		26,609 千円									
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
	その他特定財源	17,368 千円		37,007 千円		35,480 千円									
	一般財源	3,946 千円		9,252 千円		8,870 千円									
	計(A)	31,575 千円		74,013 千円		70,959 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.900 人		0.900 人		0.900 人									
		6,210 千円		6,210 千円		6,210 千円									
	臨時職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
全体事業費(A+B)		37,785 千円		80,223 千円		77,169 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価						
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	介護保険法で市町村が実施する事業として定められており、必要性は高いものです。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
		4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	介護予防の効果的な取り組みにより、より重度な要介護への移行をできるだけ食い止め、健康寿命が延びることが期待されます。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		地域介護予防活動支援事業(ふれあいサロン)設置数については、他市町村と比較しても充実している。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない						
3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している						
4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	介護予防の取り組みは、介護保険事業実施経費の削減に必要不可欠と考えられる。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	
ACTION	一次評価					二次評価									
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A				
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等						
	当面の課題	介護予防・日常生活支援総合事業の通所・訪問事業の適正な運用のために、指定事業所に対して適切な指導を行う必要がある。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)								
	課題解決のための改善計画	介護予防・日常生活支援総合事業の通所・訪問事業の基準改定など、国のガイドラインを参考にして適正な方向に改善していく。					高齢者の閉じこもり予防、認知症予防が重要な施策となっている。高齢者が身近な場所に集い、ゲームや軽度の体操などで楽しい時間を過ごし、生きがいと健康づくり、介護予防、住民通しのつながりが出来る場として拡大をしていく必要があります。平成30年4月から参加者数に応じた補助金額の限度額を見直し、支援を拡充しました。多世代の交流が図られる場となるよう検討をする必要があります。								
備考															